

平成9年度

統計数理研究所 公開講座案内



データをどのようにしてあつめるか、そのデータからどのようにして本質的な情報を取り出すか、その〈方法〉を探る科学が「統計数理」です。統計数理研究所は大学共同利用機関として統計数理の理論とその応用の研究を行うと共に、開かれた研究所として統計数理の方法の普及活動も行っています。

当研究所の統計科学情報センターでは、研究者・学生・一般社会人を対象として、統計数理に関する公開講座を、以下の要領で開催いたします。どなたでも参加できます。

要論A 多変量解析法

期　　日●10月20日(月)～24日(金) 10時～16時 (1日5時間、合計25時間)
講　　師●統計数理研究所 馬場康維・土屋隆裕・鄭躍軍・前田忠彦
　　　　多摩大学 今泉　忠

申込受付●9月8日(月)～26日(金)

講習料●8,400円(税込) <受付を確認後、9月29日(月)～10月3日(金)の間に現金書留で納入>

受講定員●70名 (先着順)

要論B 分子系統学のための統計的方法

期　　日●11月10日(月)～11日(火) 10時～17時 (1日6時間、合計12時間)
講　　師●統計数理研究所 長谷川政美・橋本哲男・Peter Waddell
　　　　東京大学 岸野　洋久

申込受付●9月29日(月)～10月17日(金)

講習料●6,400円(税込) <受付を確認後、10月20日(月)～24日(金)の間に現金書留で納入>

受講定員●70名 (先着順)

受講手続 ●別紙「申込書」(往復葉書形式)に必要事項を記入(返信用に宛先を明記し50円切手を貼付)の上、統計数理研究所公開講座係にお申込み下さい。●電話及び直接持参による申込は受けません。●講習料は、返信葉書による「回答書」の送付を待って受付を確認された後、講習料納入期間中に納入して下さい。●「申込書」は1名1講座につき1枚です。さらに申込書用紙が必要な方は、その旨封書でお申し出下さい。その際は宛先を明記した80円切手貼付の返信用封筒(葉書が入る大きさで、定形23.5cm×12cm)を同封して下さい。

*受講証明、修了証の類は発行致しません。この講座は、個人参加を原則としていますので、会社宛の領収書等も発行致しません。また、都合上講座開講中の受講生への電話の取次ぎ等は御容赦下さい。

*次回以降の公開講座は、決定次第、順次、当研究所のホームページでご案内致します。

(アドレスは <http://www.ism.ac.jp/>)

次回公開講座 統計数理特論 季節調整法のフロンティア方法とコンピュータ実習一(来年2月予定)



文部省 統計数理研究所
The Institute of Statistical Mathematics

統計数理要論

平成9年度公開講座

要論A 多変量解析法

多変量解析法は、多次元データの分析のための一連の統計的手法の総称で、統計学関連の多くの分野でデータ解析に用いられてきました。このコースでは、多変量解析法の代表的な手法である、主成分分析、重回帰分析、判別分析、因子分析、正準相関分析、クラスター分析を例題を通して平易に解説します。また、これらとの対比で数量化理論についても簡単な解説をします。

市販のテキストを用いる代わりに各講師が作る資料を配布する予定です。受講資格は特に問いませんが、平均、分散、相関係数等、記述統計の基礎的な知識が必要です。また、簡単な線形代数の知識があると理解は一層深まるでしょう。

講義内容と担当講師は以下の予定で行います。

- | | |
|--------------|-------|
| ・概論・重回帰分析 | 馬場 康維 |
| ・主成分分析 | 鄭 躍軍 |
| ・判別分析・正準相関分析 | 土屋 隆裕 |
| ・因子分析 | 前田 忠彦 |
| ・クラスター分析 | 今泉 忠 |

要論B 分子系統学のための統計的方法

分子生物学の発展に伴い、分子系統樹は、生物学の様々な分野において重要な役割を果たしています。

本講座では、分子系統学における統計的なデータ解析法、特に系統樹推定法について、その方法の基礎や、統計数理研究所で開発されたプログラム・パッケージMOLPHYの使い方などを解説します。また、これらの方法の具体的な応用例についても、統計数理研究所で行われた最近の研究を中心に詳しく解析します。

なおテキストとして、「分子系統学」(岩波書店(1996年)電話(03)5210-4111 定価 4,284円)
長谷川政美・岸野洋久著 を使用しますので、受講される方は各自書店でお求め下さい。

Waddell 講師の講義は、英語で行われ、通訳はありません。

